

日測協「公共測量品質管理優秀賞」

小杉測量設計など受賞

基準点部門 道内3社輝く

公益社団法人日本測量協会は、公共測量成果の品質が優れている測量会社へ贈る第十一回「公共測量品質管理優秀賞」に、道内から小杉測量設計（留萌、小杉忠利社長）など三社を選んだ。二十六日、札幌東急R&Iホテルで表彰式を行い、品質に優れた各社の測量成果を顕彰した。

「優秀賞」の三社は基準点部門のノミネートで、小杉測量設計のほか、北日本測地（札幌、八尾谷英社長）、日興ジオテック（旭川、小山重芳社長）がいずれも初めて受賞。地図作成部門の道内の受賞はなかった。



受賞各社の代表に記念盾が贈られた。

直接関係する」と述べ、重要性を強調。三社の成果品の精度の高さをたたえ「今後も測量技術向上と品質管理に努め、地理空間情報の整備に貢献を」と一層の活躍を期待した。

三社は、二十六年実施の開発局や道、市町村等発注の基準点測量で高い評価を得た。全国では北海道を含め優秀賞二千社、奨励賞九社が受賞した。

表彰式では、同協会北海道支部の林保技術センター長が、受賞各社に記念の盾を贈り、優れた品質管理技術をたたえた。林センター長は「公共測量は各種公共事業に先行して実施されており、その成果品の良否は後続のインフラ整備の質に直結する」と述べ、重要性を強調。三社の成果品の精度の高さをたたえ「今後も測量技術向上と品質管理に努め、地理空間情報の整備に貢献を」と一層の活躍を期待した。

北海道建設新聞

2015年(平成27年)6月27日(土曜日)

白 測 協
道内から3社輝く
公共測量品質管理優秀賞

日本測量協会は26日、札幌東急R&Iホテルで公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開いた。道内からは基準点測量部門で北日本測地（本社・札幌）と小杉測量設計（同・留萌、日興ジオテック（同・旭川）の3社が優秀賞を受賞し、記念の盾が伝達された。

第三者機関として公共測量の検定業務をする日測協が測量成果（基準点測量、地図作製）を審査し、品質管理が優秀な測量設計会社を顕彰している。

今回は2014年度検定分が対象。道内は基準点測量を受検した224社799件のうち、日測協で年間3件以上の受検基準を満たす33社に絞って最終選考をした。3社とも初の受賞。地図作成部門の道内からの受賞はなかった。

受賞者に表彰盾を手渡した林保日測協北海道支部技術センター長は「公共測量はインフラの良否



小杉測量設計の小杉由明専務は「常に後続作業のやりやすさを念頭に基準点測量を進めている。専門の成果品チェックもしている」と、技術の継承や組織改革に努めていることを明かした。

日興ジオテックの小山重芳社長は「発注機関の施行成績評定結果を高めるために各部門が知恵を絞っている。トータルソリューションなどの測量機器は毎朝現場に出る前に点検し、年1回の検定も欠かさない」と強調した。また、若手技術者の人材難を共通の悩みとし「即戦力を募集しても応募がない」「新卒者が一人前になるまで5、6年かかる」「女性の進出が目立ってきた」と話した。全国で優秀賞20社と奨励賞9社が選出された。